

## 人権週間

12月4日～10日の人権週間に合わせ、低学年では、「あいちゃんのひみつ」という絵本の読み聞かせを行いました。この絵本は、ダウン症という障害をもつあいちゃんが主人公の物語です。あいちゃんには苦手なこともあります。周りの人たちに見守られながら、いきいきと生活している様子が描かれています。子供たちは、「ぼくにも苦手なことと得意なことがある。それは同じだと思った。」「周りの友達がやさしいと、学校来るのが楽しくなるよね。」など、自分と比較しながら感想を述べていました。

人にはそれぞれ得意不得意があり、努力だけでは埋められないことがたくさんあります。一人一人もっている個性は違いますが、そこに合理的な配慮があれば、共に暮らすことができます。子供たちには、障害の有無に限らず、誰もが過ごしやすい環境を作るためには、どう工夫したら過ごしやすくなるか一人一人が考えていくことが大切であると話しました。全ての子供は、一人の人間として尊重され、安心して過ごせる権利をもっています。今回、互いの違いを認め合いながら、共に生きる方法を考える第一歩になったのではないかと考えます。

## ESD 研究発表会 11月14日（火）

ESD（Education for Sustainable Development）とは「持続可能な開発のための教育」と訳されています。この教育は持続可能な社会を実現していくことを目指して行う学習・教育活動のことです。ESDはSDGsの目標4に位置付けられています。本校では全学年が様々な教科でESD教育を意識した活動をしています。今年度の研究発表会では、「和紙に携わる人が増えてほしい」という高学年の子供たちの願いを基にした授業を公開しました。子供たち一人一人が五箇山の未来を真剣に考え、自分にできることを一生懸命に考えました。



## 2年親子歯科保健教室（学習参観）

11月11日の学習参観では、毎年2年生の親子で参加する歯科保健教室を実施しました。歯科衛生士さんは10才になるまでは保護者による仕上げみがきが必要であることを話されました。また、歯ブラシは雑菌の繁殖の面から使用頻度に関わらず一カ月に一度交換することが望ましいと教えていただきました。家庭や学校で使用している歯ブラシもチェックされ、交換の目安にしてみました。いかがでしょうか。



## サイエンスカー訪問活動

12月4日（月）、県総合教育センターから講師が来校し、サイエンスカー訪問活動が行われました。

子供たちは静電気遊び（低）、ホバークラフトづくり（中）、化石模型づくり（高）に取り組み、遊びや製作を通して自然科学に関わる事象に興味を深めることができました。

